

時刻合わせの流れ

1.主モニター・回線モニター・回線の子時計を同時刻に合わせる

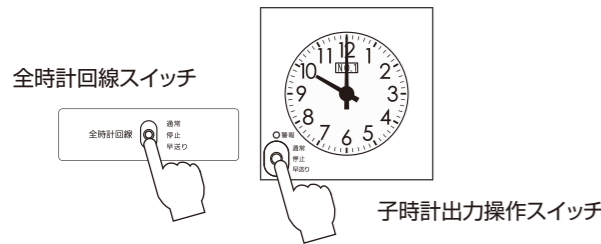
2.電源投入

3.デジタル親時計の設定

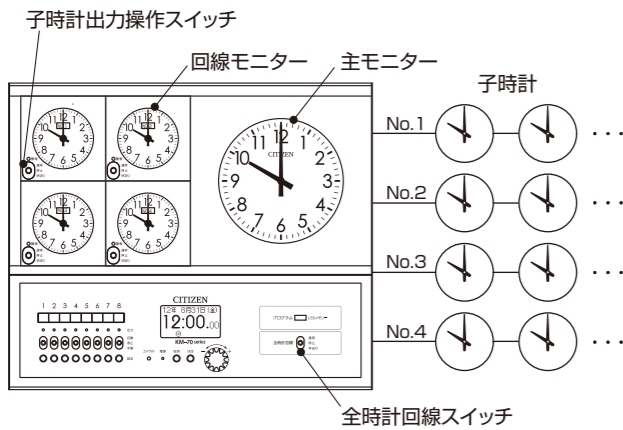
4.各アナログ時計を親時計に合わせる

1.主モニター・回線モニター・回線の子時計を同時刻に合わせる

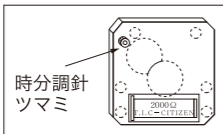
Check! 「全時計回線スイッチ」と「子時計出力操作スイッチ」が「停止」になっていることを確認します。



すべての回線モニターと各回線に接続されている子時計、主モニターをすべて同時刻にします。



※時刻がずれている場合は、各時計の裏側の子時計機体の時分調針ツマミを回して、時刻を合わせます。

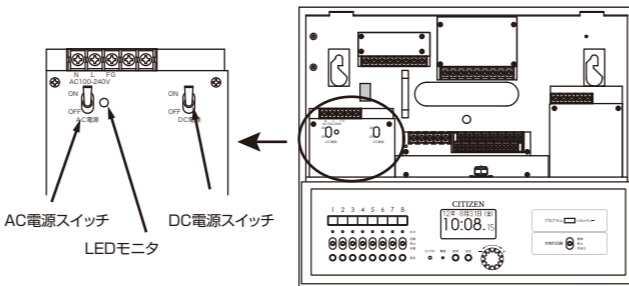


例)ここではすべて10時に合わせています

※子時計回線が1回線の場合は「回線モニター」「子時計出力操作スイッチ」はありません。

2. 電源投入

扉を開けて「AC電源スイッチ」と「DC電源スイッチ」を「ON」にします。



「AC電源スイッチ」の右側の「LEDモニター」と前面パネルの「電源ランプ」が緑色に点灯します。

液晶モニターが親時計設定表示になります。初期設定は、2012年1月1日12時00分00秒です。



※日付・時刻の設定方法については【3.デジタル親時計の設定】を参照して下さい。

もしも

時計表示に画面が切り替わってしまった場合
決定ボタンを押してメインメニューを表示させて、時刻合わせ→親時計を選択し、親時計設定画面を表示させます。

子時計が一斉に早送りした場合(バックアップ機能が有効になっています)
取消ボタンを3秒以上押して早送りを解除し、子時計の修正を行って下さい。

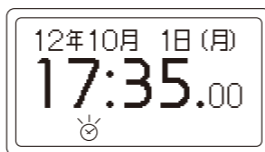
3. デジタル親時計の設定

年→月→日→時→分→秒の順に、ジョグダイヤルと決定ボタンで設定します。



設定後、時計表示画面になり「」が点滅します。

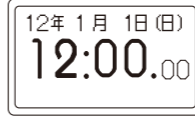
また、設定せずに長時間放置しておくと時計表示画面になります。



順番	設定範囲	注意事項
1年	00~99	西暦設定で2000年~2099年
2月	1~12	1月~12月
3日	1~31	応答日がないときは1に、末日は年と月により計算
4時	0~23	24時間制
5分	00~59	0分~59分
6秒	00~59	任意の秒で秒合わせ可能

時計表示画面での親時計の設定

ここでは液晶モニターが時刻表示画面に切り替わってしまった場合の設定方法を説明します。



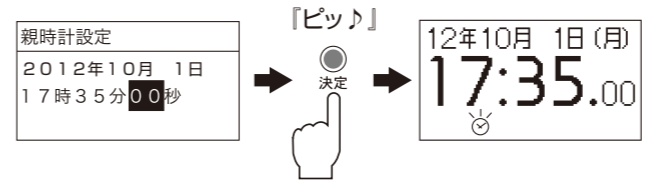
1 液晶モニターが時刻表示の時、決定ボタンを押すとメインメニューが表示されます。[時刻合わせ]が選択された状態で、決定ボタンを押します。



2 [親時計]が選択されているのを確認して決定ボタンを押すと時刻設定画面になりますので、現在時刻を設定して下さい。

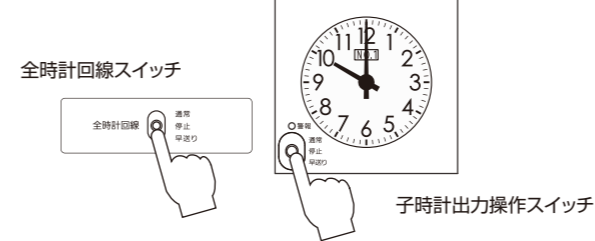


3 秒まで設定できたら、決定ボタンを押します。設定完了を示すブザー音が鳴ります。修正された時刻が表示され、「」が点滅します。

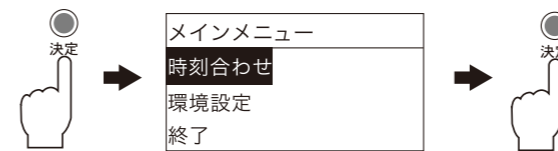


4. 各アナログ時計を親時計に合わせる

1 「全時計回線スイッチ」と「子時計出力操作スイッチ」を「通常」にします。



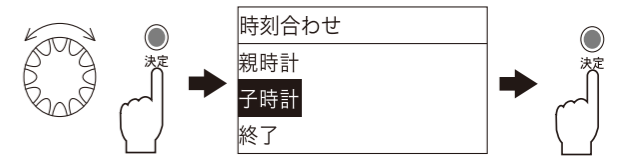
2 液晶モニターが時刻表示の時、決定ボタンを押すとメインメニューが表示されます。[時刻合わせ]が選択された状態で、決定ボタンを押します。



もしも 前画面に戻る場合

取消ボタンを押すと、前画面に戻ります。

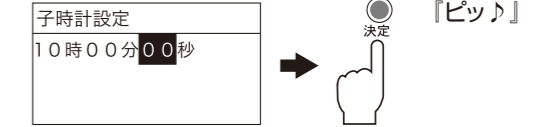
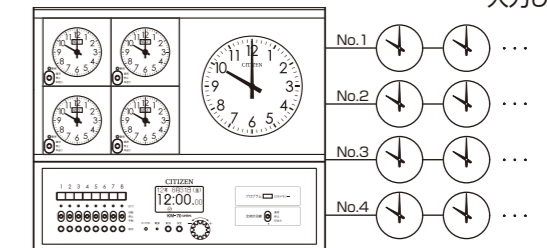
3 ジョグダイヤルで[子時計]を選択し、決定ボタンを押します。



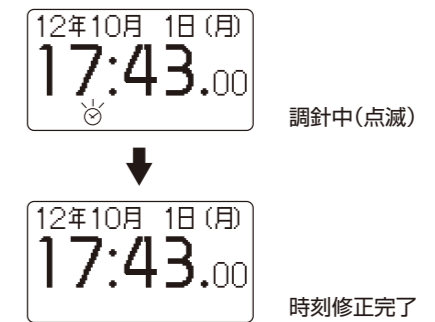
※決定ボタンを押すと、次の時刻設定をするまで、各アナログ時計は停止します。

4 ジョグダイヤルで各アナログ時計の表示している時刻を入力します。「秒」まで設定がきたら決定ボタンを押します。設定完了を示すブザー音が鳴ります。

※秒は00秒または30秒を設定します。例)停止中の子時計が指している10時を入力します。



5 アナログ時計の一斉調針が開始され、主モニター・回線モニター・回線の子時計は早送りを始めます。調針中は「」が点滅し、時刻修正が完了すると消えます。



もしも

子時計一斉調針の解除

子時計修正中または停止中に、取消ボタンを3秒以上押すと解除されます。ただし、強制解除の操作を行った後は必ず子時計修正を行って下さい。誤った時刻表示などの原因になります

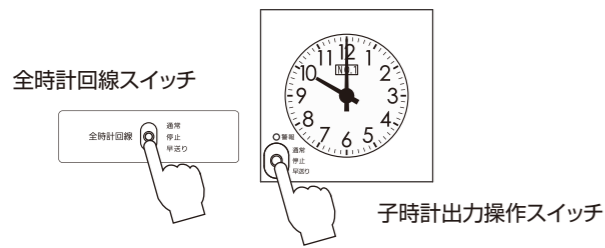
時刻合わせ完了

時刻合わせの流れ

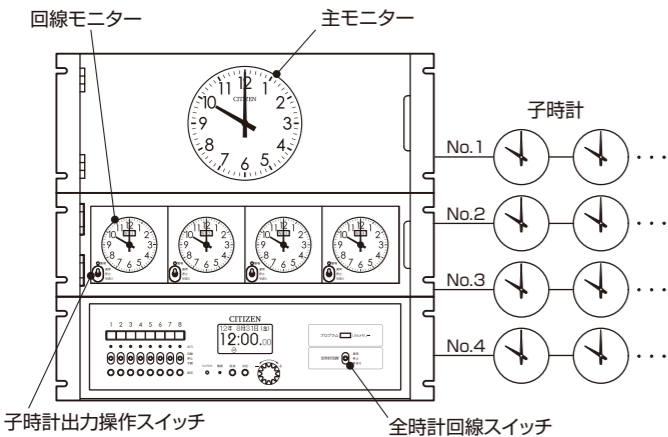
- 1.主モニター・回線モニター・回線の子時計を同時刻に合わせる
- 2.電源投入
- 3.デジタル親時計の設定
- 4.各アナログ時計を親時計に合わせる

1. 主モニター・回線モニター・回線の子時計を同時刻に合わせる

Check! 「全時計回線スイッチ」と「子時計出力操作スイッチ」が「停止」になっていることを確認します。



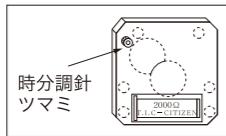
すべての回線モニターと各回線に接続されている子時計、主モニターをすべて同時刻にします。



※時刻がずれている場合は、各時計の裏側の子時計機体の時分調針ツマミを回して、時刻を合わせます。

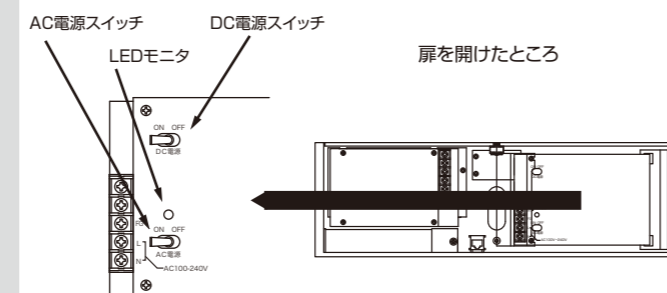
例)ここではすべて10時に合わせています

※子時計回線が1回線の場合は「回線モニター」「子時計出力操作スイッチ」はありません。



2. 電源投入

扉を開けて「AC電源スイッチ」と「DC電源スイッチ」を「ON」にします。



「AC電源スイッチ」の右側の「LEDモニター」と前面パネルの「電源ランプ」が緑色に点灯します。

液晶モニターが親時計設定表示になります。初期設定は、2012年1月1日12時00分00秒です。



※日付・時刻の設定方法については【3.デジタル親時計の設定】を参照して下さい。

もしも 時計表示に画面が切り替わってしまった場合

決定ボタンを押してメインメニューを表示させて、時刻合わせ→親時計を選択し、親時計設定画面を表示させます。

子時計が一斉に早送りした場合 (バックアップ機能が有効になっています)

取消ボタンを3秒以上押して早送りを解除し、子時計の修正を行って下さい。

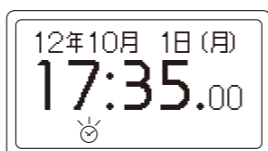
3. デジタル親時計の設定

年→月→日→時→分→秒の順に、ジョグダイヤルと決定ボタンで設定します。



設定後、時計表示画面になり「⊙」が点滅します。

また、設定せずに長時間放置しておくと時計表示画面になります。



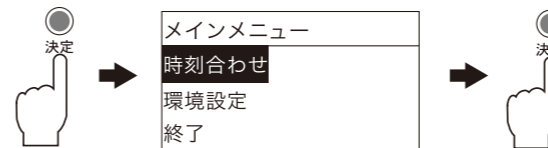
順番	設定範囲	注意事項
1年	00~99	西暦設定で2000年~2099年
2月	1~12	1月~12月
3日	1~31	応答日がないときは1に、末日は年と月により計算
4時	0~23	24時間制
5分	00~59	0分~59分
6秒	00~59	任意の秒で秒合わせ可能

時計表示画面での親時計の設定

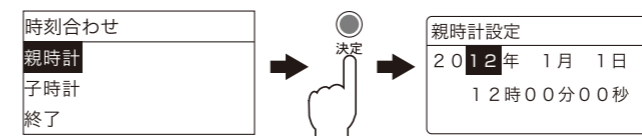
ここでは液晶モニターが時刻表示画面に切り替わってしまった場合の設定方法を説明します。



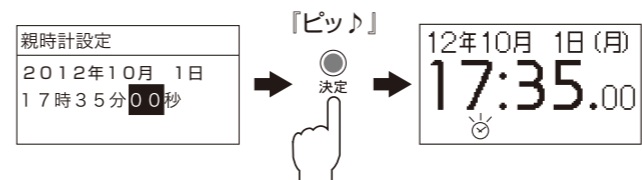
1 液晶モニターが時刻表示の時、決定ボタンを押すとメインメニューが表示されます。[時刻合わせ]が選択された状態で、決定ボタンを押します。



2 [親時計]が選択されているのを確認して決定ボタンを押すと時刻設定画面になりますので、現在時刻を設定して下さい。

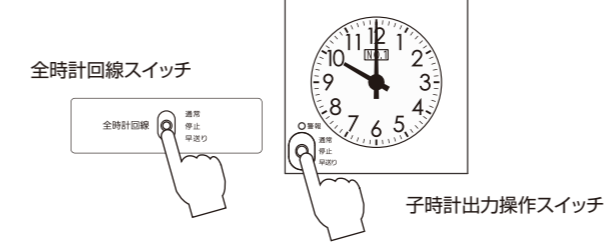


3 秒まで設定できたら、決定ボタンを押します。設定完了を示すブザー音が鳴ります。修正された時刻が表示され、「⊙」が点滅します。

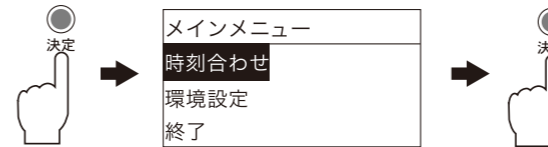


4. 各アナログ時計を親時計に合わせる

1 「全時計回線スイッチ」と「子時計出力操作スイッチ」を「通常」にします。



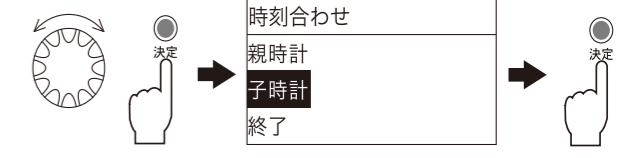
2 液晶モニターが時刻表示の時、決定ボタンを押すとメインメニューが表示されます。[時刻合わせ]が選択された状態で、決定ボタンを押します。



もしも 前画面に戻る場合

取消ボタンを押すと、前画面に戻ります。

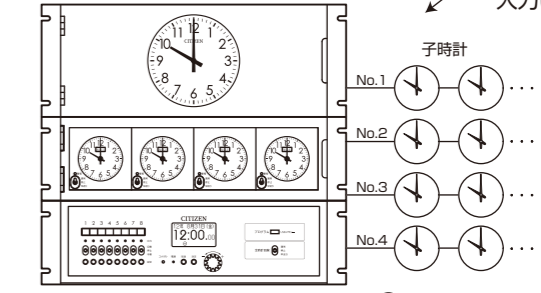
3 ジョグダイヤルで[子時計]を選択し、決定ボタンを押します。



※決定ボタンを押すと、次の時刻設定をするまで、各アナログ時計は停止します。

4 ジョグダイヤルで各アナログ時計の表示している時刻を入力します。「秒」まで設定がきたら決定ボタンを押します。設定完了を示すブザー音が鳴ります。

※秒は00秒または30秒を設定します。例)停止中の子時計が指している10時を入力します。



5 アナログ時計の一斉調針が開始され、主モニター・回線モニター・回線の子時計は早送りを始めます。調針中は「⊙」が点滅し、時刻修正が完了すると消えます。



もしも 子時計一斉調針の解除

子時計修正中または停止中に、取消ボタンを3秒以上押すと解除されます。ただし、強制解除の操作を行った後は必ず子時計修正を行って下さい。誤った時刻表示などの原因になります

時刻合わせ完了